

会記

著者	植物地理・分類学会
著者別表示	The Society for the Study of Phytogeography and Taxonomy,
雑誌名	植物地理・分類研究
巻	64
号	2
ページ	97
発行年	2017-03-01
URL	http://hdl.handle.net/2297/00053357

植物地理・分類学会2017年度大会開催地変更のお知らせ

皆様には郵送にて案内致しました通り、2017年5月の植物地理・分類学会総会にて、日本植物分類学会への合流の可否を正式にお諮りしたいと考えています。そのため、前回の総会で次期2017年度総会・大会会場を千葉県鴨川市といたしました。これを変更し、本学会発祥地である石川県金沢市で行いたいと思います。詳細が決定いたしましたら、参加申し込み等のご案内を学会ニュースでお知らせいたします。

1. 会場（予定）

金沢大学サテライト・プラザ（石川県金沢市西町三番丁16）

2. 日程（予定）

5月27日（土）午後：総会，学会賞授賞式，受賞記念講演会，一般講演，懇親会

5月28日（日）エクスカージョン

日本植物分類学会との合流に関する意見交換会のお知らせ

上記の2017年度総会に先立ち、下記の通り、日本植物分類学会との合流に関する意見交換会を開催いたします。皆様には学会合流に関するアンケートへの回答をいただいたところですが、その結果を受けて、幹事会から追加の説明を行います。学会合流に関するご意見やご要望などお持ちの方は、是非参加下さい。なお、参加者多数の場合はより大きな会場に変更する必要があります。大まかな参加人数を把握したいと思いますので、参加いただける方は4月20日（木）までに、庶務幹事まで電話またはE-mailで、ご連絡いただきますよう、ご協力をお願いします（予約制ではありません）。

1. 会場

金沢勤労者プラザ（石川県金沢市北安江3-2-20）

2. 日程

2017年4月23日（日）14時から2時間程度

3. 参加問い合わせ先

電話：0779-88-0001

E-mail：k-terada@dinosaur.pref.fukui.jp

〒911-8601 福井県勝山市村岡町寺尾51-11 福井県立恐竜博物館

植物地理・分類学会 庶務幹事 寺田 和雄

植物地理・分類学会 会則

- 第1条 本会は、植物地理・分類学会と称する。
- 第2条 本会は、植物系統分類学、植物地理学、植物生態学および植物自然史関連分野の進歩普及を図り、あわせて会員相互の連絡および親睦を図ることを目的とする。
- 第3条 本会は、前条の目的を達成するために次の事業を行う。
1. 研究会、講演会、シンポジウム、観察会等を開催する。
 2. 会誌その他の出版物を刊行する。会誌「植物地理・分類研究」は原則として年2回発行する。
 3. 植物系統分類学、植物地理学、植物生態学および植物自然史関連分野に関係した調査、研究の業績、または教育的な貢献が著しい会員を表彰する。
- 第4条 本会の事業年度は4月1日に始まり3月31日に終わる。
- 第5条 会員は普通会員、学生会員、団体会員、賛助会員および特別会員とする。
1. 普通会員、学生会員、団体会員および賛助会員は、本会の趣旨に賛同し、それぞれ所定の会費を納める個人または団体。
 2. 特別会員は、本会の発展に著しい功績のあった個人で、幹事会の議を経て会長が推薦し総会の承認を受けた者。特別会員は会費の納入を要しない。
- 第6条 普通会員、学生会員、団体会員および賛助会員は、会費を前納（前年度の3月末日まで）しなければならない。なお、納入された会費は返付しない。
- 第7条 会員は、会誌の配布を受け、あわせて会誌に投稿すること、ニュースレターの配布を受けること、本会主催の諸会合に出席することができる。
- 第8条 新しく会員になろうとするものは、当年度の会費を添えて本会事務局に申し込むこと。退会する場合は本会事務局に届け出なければならない。会費に滞納があるときは、未納分を納めなければならない。
- 第9条 会員が次の各項に該当するときは、幹事会の議決を経て次の措置をとることができる。
1. 本会の名誉を著しく傷つけ、または本会の目的に反する行為のあったときは、除名する。
 2. 会費を2年間滞納したときは、除籍する。
- 第10条 本会の最高決定機関として総会を置く。総会は毎年1回開催する。総会での議決は出席者の過半数の賛成を以て行う。ただし会則の改正には出席者の2/3以上の賛成を要する。
- 第11条 本会に幹事会を置く。幹事会は本会の運営を行う。幹事は会長、庶務幹事、会計幹事、編集委員長各1名、およびその他若干名とし、総会において選出する。これらの役員の任期は2年とする。
- 第12条 本会に編集委員会を置く。編集委員会は編集委員長、主任編集委員および編集委員で構成し、編集委員長がこれを代表する。主任編集委員1名、編集委員は若干名とし、編集委員長が幹事会にはかって委嘱する。委員の任期は2年とする。
- 第13条 本会に評議員会を置く。評議員会は会長の諮問に応じ、会務の重要事項を審議する。評議員会は総会において選出された評議員若干名で構成し、任期は2年とする。
- 第14条 本会に監査員を2名置く。任期は2年とし、総会において選出する。
- 第15条 本会の会長は、必要に応じて、特定の事項を審議する委員会を設けることができる。
- 第16条 この会則についての細則は、総会の議決を経て、別に定める。
- 付則 1. この規約は1990年6月2日から施行する。
- 付則 2. 第12条の規定に関わらず会長は編集委員長を兼ねることができる。
- 付則 3. この規約は2001年6月2日から施行する。
- 付則 4. この規約は2002年6月1日から施行する。
- 付則 5. この規約は2005年6月4日から施行する。ただし2005年度は、第4条の規定に関わらず事業年度は2005年1月1日から2006年3月31日とする。
- 付則 6. この規約は2013年6月1日から施行する。

植物地理・分類学会からのご案内

1. 入会方法

- 1) 本学会に入会を希望される方は、①氏名(フリガナ, 英語表記), ②生年月日, ③連絡先(郵便番号, 住所, 電話番号, FAX番号, E-mailアドレス), ④入会希望年度, ⑤キーワード5語以内(研究課題, 興味ある分類群・地域など)を記載し, 郵便, FAX, または電子メールで下記まで送付ください。なお, 学生の方は, 所属の欄にその旨を記載いただき, 学生であることを証明するもの(学生証の写し, または指導教員記載の証明書)を入会申込書に添えてください。学会ホームページ (<http://raicho.sci.u-toyama.ac.jp/~phytogeotaxo/>) の入会案内から申込書をダウンロードして記入いただいても構いません。

申込先: 会計幹事 中野真理子

(〒920-1147 金沢市銚子町 441 番地 石川県立自然史資料館)

TEL 076-229-3450(代表) / FAX 076-229-3460 / E-mail: nakano@n-muse-ishikawa.or.jp

- 2) 同時かまたは数日以内に, 個人会員の場合は, 年会費4000円(学生会員1000円), 団体会員は6000円を, 郵便振替口座 00760-0-904 番, 植物地理・分類学会宛に振り込んでください。

2. 雑誌の購読, バックナンバー, 当会発行書籍に関するお問い合わせ

会計幹事 中野真理子

(〒920-1147 石川県金沢市銚子町 441 番地 石川県立自然史資料館)

TEL 076-229-3450(代表) / FAX 076-229-3460 / E-mail: nakano@n-muse-ishikawa.or.jp

3. 住所変更など会員の異動に関するご連絡

会計幹事 中野真理子

(〒920-1147 石川県金沢市銚子町 441 番地 石川県立自然史資料館)

TEL 076-229-3450(代表) / FAX 076-229-3460 / E-mail: nakano@n-muse-ishikawa.or.jp

4. 引用許可申請に関するお問合せ

本会誌各巻2号に掲載の様式で「引用許可申請書」を作成し, 許可を得てください。

申請書送付先: 庶務幹事 五百川 裕

(〒943-8512 新潟県上越市山屋敷町 1 番地 上越教育大学学校教育学系)

TEL & FAX 025-521-3430 / E-mail: iokawa@juen.ac.jp

5. 投稿に関するお問い合わせ

編集委員長 山田 敏弘

(〒920-1192 金沢市角間町 金沢大学理工研究域自然システム学系)

TEL & FAX 076-264-6207 / E-mail: nymphaea@staff.kanazawa-u.ac.jp

6. その他のお問合せ

庶務幹事 五百川 裕

(〒943-8512 新潟県上越市山屋敷町 1 番地 上越教育大学学校教育学系)

TEL & FAX 025-521-3430 / E-mail: iokawa@juen.ac.jp

転載許可申請書について

本会誌に掲載された図や写真等の他の印刷物での引用（使用）を希望する場合は、以下のような様式で「引用許可申請書」を作成し、学会の庶務幹事宛（〒911-8601 福井県勝山市村岡町寺尾 51-11 福井県立恐竜博物館 植物地理・分類学会 庶務幹事 寺田 和雄）に郵送して、許可を得てください。用紙はA4を使用し、使用先の出版物等の内容は以下の様式の括弧内の事項を参考に、できるだけ詳しく記載してください。

.....

転載許可申請書

植物地理・分類学会 会長殿

年 月 日

貴学会発行の「植物地理・分類研究」に掲載の図表等を転載したく、その許可をお願いいたします。

申請者の住所

氏名 印

1) 使用する「植物地理・分類研究」の巻、頁、著者名、題目、図表の番号

2) 著者の許可の有無

（著者の許可が必要です。許可を得ていない場合は、その理由を記してください。例：連絡がつかない、著者死亡等）

3) 使用先の出版物等の内容

（雑誌、本、パンフレット等に使用する場合は、発行元、発行予定数、有料・無料の別等を書いてください。）

投稿規定

(2015年9月部分改定)

編集方針

「植物地理・分類研究」は、植物地理・分類学会機関誌として年1巻（2号）刊行される。本会誌は、総説、論文、ノートのほか、雑録（新刊紹介、追悼文、その他編集委員会が掲載を認めたもの）を掲載する。本文は日本語または英語を使用。

投稿資格

「植物地理・分類研究」に投稿する者は、原則として本会会員（共著の場合は1名以上の本会会員を含む）に限る。

原稿の受付

原稿は、投稿規定に従って書かれたものに限り受付ける。

原稿の審査及び採否

投稿された原稿は、原則として2名の審査員が審査し、その意見のもとに、編集委員会が採否を決定する。なお、雑録については、編集委員会で体裁の確認は行いが、審査は行わない。

論文等の受理

原稿が編集委員会に届いた日をもって受付日（received）、編集委員会が掲載を可とし、編集委員長がそれを認めた日をもって受理日（accepted）とする。なお、掲載順は編集委員会によって決定する。

著作権

本誌掲載の総説、論文、ノート、雑録の著作権は、植物地理・分類学会に帰属する。著者は、著作権を委譲する旨の書類を、最終原稿送付時に本学会に提出する。

論文等の長さ

論文は、刷り上がりで、図表を含み8頁までとする。ノートは4頁までとする。ただし超過頁の組版代（1頁につき6,000円）を著者で負担する場合には制限しない。

原稿の送付

- a 紙原稿の場合：本稿1部のほか、コピー2部、合計3部を提出する。その際、表・図は3部ともに鮮明なコピーを送ること（写真については、原図を写真に撮ったものか、または審査に使用し得る程度の鮮明な写真コピーとする）。表・図の原図は、掲載決定後の最終原稿とともに送付する。
- b 電子投稿の場合：以下のファイル形式で、電子メールに添付して下記編集委員会あて送付する。本文と図の説明には、頁番号および連続行番号をつけること。添付ファイルのサイズは5MB以下とし、超過する場合は分割して送付するか、ファイル転送サービスなどを利用する。なお、ファイル転送サービスを利用する場合は、事前にメールで連絡すること。

本文：ワード形式（doc, docx）またはPDF形式

図：JPEG形式、TIFF形式、またはPDF形式

表：エクセル形式（xls,xlsx）またはPDF形式

原稿の書き方

論文および総説は、①著者名と表題（和英両方）、②所属、住所、および連絡先メールアドレス（任意）、③Abstract（英文で250語以内）、④英語のキーワード（5個以内の語句でアルファベット順）、⑤本文、⑥引用文献の順序で構成するものとする。論文および総説は、英文の場合、さらに和文の摘要を付けること。また、論文および総説には、場合によりAppendixを付けることも可。ノート（雑録）は、英和両文で著者名と題名を付け、所属、住所、および連絡先メールアドレス（任意）を末尾に付ける。ノートが英文の場合、和文の摘要を付けることも可。雑録については、編集委員会で別途形式を定めることがある。著者が複数である場合、責任著者（corresponding author）の氏名と連絡先をアスタリスク（*）で明示する。本文中で使用する単位は、国際単位系（SI）に限る。

原稿の用紙

英文原稿は、A4判用紙に上下3cm程度、左右2.5cm程度あけ、ダブルスペースで25行を原稿の1頁とする。和文原稿の場合は、原則として日本語ワードプロセッサを使用し、A4判の用紙に周囲それぞれ3cm程度の余白を取ったうえで、30字×30行程度を原稿の1頁として作成する。

図と写真

図および写真は、そのまま印刷できるようにレイアウトする。紙媒体で作図する場合は、堅いA4判の台紙にはりつけること。図にはスケールを表示し、図の記号、数字には文字を貼り込むこと。図は原則として刷り上がりで15cm(頁幅)×19cm以内または7cm(半頁幅)×19cm以内(いずれも幅×高さ)であること。和文原稿の図表および写真の説明は、英文、和文、英文和文併記のいずれでもよい。図の説明文は、図中には入れ込まず、独立した原稿として用意すること。なお、図表は希望の挿入位置を原稿中に指示すること(著者による図表などの縮小率や位置の指定は、編集委員会において若干変更する場合がある)。当面、カラー写真は、1点(組写真でも可)に限り組版料無料。2点目からは実費負担(1点につき40,000円)。特殊な図表は、実費を著者で負担する場合に限り掲載する。

学名および標本庫の表示

学名は、現行の国際植物命名規約(ICBN)に従い、属名および種と種以下の分類群の形容語のみをイタリックで表示する。本文中では学名以外はイタリックを使用しない。学名は初出時に命名者名を付ける。命名者名は、省略形を使用する場合、Brummit, R. K. and Powell, C. E. (eds). 1992. *Authors of Plant Names*. 732 pp. Royal Botanic Gardens, KewまたはThe International Plant Names Indexのホームページ(<http://www.ipni.org/>)に従う。栽培植物の学名は、最新版の国際栽培植物命名規約(ICNCP)に従う。標本庫の略語はHolmgren, P. K., Holmgren, N. H. and Barnett, C. B. (eds). 1990. *Index Herbariorum* 8 ed. 693 pp. New York Botanical Garden, New YorkまたはIndex Herbariorumのホームページ(<http://sciweb.nybg.org/science2/IndexHerbariorum.asp>)に従う。

文献の引用

引用文献は、ウェブサイトを含め本文中に引用したすべてを記さなければならない。文献の配列順序はアルファベット順とし、一件ごとに改行する。すなわち、第1著者の異なるものはアルファベット順とし、姓が同じ場合は名のアルファベット順とする。第1著者が同一の場合には、単独のものを最初とし、そのあとは、第2著者の氏名のアルファベット順とする。第2著者も同一の場合には、第3著者以下について上記に準じる。著者が同一のものについては、発表の年代順とする。同一著者、同一年代のものは、年号のあとに小文字のアルファベットを付して、1999a, 1999bのように区別する。著者が3名以上で第1著者が同じである場合は、他の著者が異なっているときでも年号のあとにアルファベットを付して区別する。本文中での引用は、石川(1999)もしくは(Toyama 1999)のように著者名と発表年を用いる。また、著者が2名の場合、石川・富山(1999)、(Ishikawa and Toyama 1999)、3名以上の場合、石川他(1999)、(Toyama et al. 1999)の形式を用いること。

- a 雑誌の場合: 著者名(姓前名後とし、すべての著者名をあげる)、年号、論文表題、雑誌名、巻数(太字): 頁とし、通し頁でない場合のみ巻数の次に丸括弧で号数をあげること。

(例)

石川太郎. 1989. 日本産イネ科の系統分類. 地理分類研究 **25**: 33-42.

Ishikawa, T. and Toyama, J. 1990. Two new species of *Poa* (Gramineae) from Japan. *J. Jpn. Bot.* 65: 4-12.

富山次郎. 1991. 富山県産イネ科目録. イネ科研究レター (52): 8-9.

- b 単行本の場合: 著者名(aに同じ)、年号、表題、引用頁、発行所、発行地の順とする。なお発行地が複数の場合は一箇所のみとする。分担執筆や論文集、報告書等の場合、表題の後に編集者名、書籍表題を付け加えること。

(例)

福井三郎・新潟四郎. 1989. 日本海沿岸地域のエノコログサ属の生態. 日本海学会出版会(編). 日本海学会報告書, pp. 24-31. 日本海大学, 新潟.

石川太郎. 1981. イネ科の分類. 富山書房, 東京.

石川太郎. 1984. イネ科. 富山次郎(編), 日本植物誌 III, pp. 38-78. 石川出版, 金沢.

Ishikawa, T. 1985a. Taxonomic study of Asiatic Gramineae. Smith and Brown, New York.

Ishikawa, T. 1985b. Morphology in Gramineae. In: Willson H. B., Clemens, A. C. and Backer, I. P. (eds), *Gramineae in the world*, pp. 23-45. Academia, London.

- c ウェブサイトの場合: 掲載者名、確認した年、表題、URLを表示する。なお、引用文献を他言語表記した場合、(in Japanese), (in Japanese with English summary), (in Russian), (in Chinese) 等

を付記する。その他、原稿の体裁については最近号をよく参照のこと。

最終原稿の送付

審査終了後の最終原稿のファイルは、それらを保存した電子媒体（CD-R など）を郵送するか、電子メール（5MBまで）で提出する。ファイル形式は、「原稿の送付」の項に挙げた形式（ただしPDF形式は除く）とし、写真の解像度は 300dpi 以上であること。図を紙媒体で提出する場合、図の裏面には著者名と図番号、天地、縮小率を明記すること（写真は原寸大、図は 67%縮小程度が望ましい）。A4判に納めることが不可能な植生表のような場合には、A4に分割したコピーを添えること。なお、電子媒体、表、原図は原則として返却しない。返却希望の場合には、予めその旨を申し出るとともに、宛先を記入した返送用封筒を、最終原稿の送付時に必ず同封すること。

校正

原則として、初校を著者が行い、第2校以降は編集委員会の責任において行うものとする。また、初校校正の結果は、PDF閲覧ソフトの校正機能を利用して、電子メール等で提出することを推奨する。活字は編集委員会が指定するが、特に希望する箇所があれば、初校校正時に指定すること。

校閲

英文（Abstractも含む）については、著者の責任で英語を母国語とする外国人の校閲を受けること。編集委員会の判断で英文校閲を実施した場合の実費は著者負担とする。

別刷

投稿者は、初校の校正結果の提出時に別刷申込書も併せて送付すること。総説、論文、ノートは、50部は無料、それ以上については実費を徴収する。植物目録など雑録に掲載された記事については、別刷を提供できる場合があるので、希望する場合は編集委員会に問い合わせること。投稿者（共著の場合は責任著者）には論文のPDFファイルを配布する。

原稿送付先および編集に関する連絡先

送稿や編集に関係した通信は 〒920-1192 金沢市角間町 金沢大学理工研究域自然システム学系 植物地理・分類研究編集委員会 編集委員長 山田敏弘 TEL & FAX: 076-264-6207/E-mail: nymphaea@staff.kanazawa-u. ac.jp. 投稿の場合、紙原稿では封筒に「投稿原稿在中」と朱書き、電子投稿では電子メールの表題を「植物地理・分類研究投稿」とすること。